

一、江藤依然首位

—セ・リーグ打率争い

セ・リーグでは中日、巨人が首位争いを展開。残り20余試合にすべてをかけています。また、個人賞の行方もはげしく、首位打者をめぐって、しのぎを削る江藤と王。昨年同様今年も王の三冠王にまつたをかける江藤、両雄一步も退けぬ、厘差のはげしい、バットマン・レースを展開しています。

一方パ・リーグでは南海が早くも優勝を決めるなど、プロ野球ベナント・レースもいよいよ大詰にきたようです。

一、〃何でも貸します……………〃

—動物プロデューサー繁盛記

ブラウン管に現われ茶の間の人気を集める動物達。今や動物役者は番組に欠かせない存在です。

これらの動物スターを一手に引受けている人、池田元三郎さんは日本に一軒しかないという動物プロダクションの社長。

朝起きる。まず一通りの動物に餌を与えるのにざつと二時間。芸を忘れがちな役者達、大切な日課の一つに池田さんの調教があります。

出演日ともなれば天下の女優諸士らとの競演、入念に手入れを受け丁寧に車を乗せられスタジオに送られます。

注文とあればノミからゾウまで何でも納入、そんな池田さんの気安さからか、色々な注文が舞込んできます。冬にカエルだとか、ノミ何匹、トンボ何匹等々と……。その度に手分けをし方々に散って行きます。

相手は物言わぬ動物だけに本番となっても仲々言う事を聞きません。あの手、この手と考えつき演技させたそのあげく、スタジオにフンでも落そうものなら跡かたづけもしなければなりません。

仕事が進んで家に帰ればかわいいチンパンジーが待っている。入浴も晩シャクも一緒にする。この売子スター、そんなことは少しも気にせずおてんばぶりを大いに発揮。子供達と一緒にになって部屋中を走り廻ります。

気の休まるひまもない池田さんの仕事、いくら動物が好きとはいえ、仲々骨が折れる様です。